

美祢市立図書館基本計画策定業務	
令和4年度第8回美祢市立図書館あり方検討委員会 発表記録 (株)龍環境計画	
日 時	2022年5月31日(火) 14:00~16:00
場 所	美祢市民会館 2階 大会議室

グループA「役割①、③」

○資料や情報をわかりやすく提供する について

- ・専門スタッフがいることが必要だという事で意見が一致した。
- ・スタッフの質と量は大切である。

○求められる空間 について

- ・若い方にはWi-FiなどI C T環境が求められているのではないかと。
- ・学習室が必要であると意見が出た。個室での学習環境がない家庭もある為、必要である。
- ・シニアや子育て中の方のため、ゾーニングされた閲覧席が必要である。
- ・イベントや様々な空間、子育てが出来る場所など、様々な世代の方の居場所になれる空間が求められている。

○求められる機能・サービス について

- ・物流のシステムが必ず必要になってくる。
- ・アンケートにもあったように、返却が面倒、という問題についてはブックポストの設置や、学校図書館等とのネットワーク連携が必要である。
- ・図書館でのイベントなどの広報について、昔ながらの紙の広報ではなく、HPやSNS等を活用し、来てもらうための広報を行うべきだ。同時にSNS等で情報を共有し、子育て世代への支援にもつなげられるのではないかと思います。

○地域の暮らしを支える について

- ・シニアに対して情報が行き届かない、居場所がない、本は必要だけれども足がないなどの問題がある。そのため、シニアに対しての情報提供が必要である。
- ・移動図書館があるという意見や、美祢市には書店が少ないという背景があるため、その場で必要な本を購入できる書店機能があると良い。

- ・ブックスタートを現在は社会福祉協議会が担当しているが、多くの自治体では図書館が主流になって行っている。未就園児やその家庭の保護者に対して図書館に来てくださいというPRにもなるため、ぜひブックスタートに取り組んで欲しい。
- ・学生が使える参考書を取り扱って欲しい。中高生も図書館に足を向けるきっかけになるのではないかと。また、学習塾がなかなかないので、そのような機能があると嬉しいという意見が出た。
- ・先述したように、返却ポストが多い事が望まれますが、その分物流のネットワークが必要になると考えた。

まとめとして、A班の意見としては、様々な年代の交流の場になる事が望ましいという事になった

グループB「役割②、③」

○多様な学びの活動を支援する

- ・役割②を検討する中で、内容が③に通ずるものが多いと感じたため、あまり線引きをはっきりとせずに話し合いを行った。
- ・まず、図書館の大前提として、最低限頼れるレファレンスが利用出来ないといけないため、専門的な知識のある職員がいることがベースとなると考えた。
- ・各小中学校の学校図書館や、図書を利用する様々な活動団体のそれぞれが比較的閉じている状態であると感じた。そういったものを繋ぐ物として、図書館を介してネットワーク化されることで図書館利用を促すこともできるし、効果的な学校教育や図書館の在り方を地域的に考えていけないのか。本に携わる方の繋ぎ合いとして機能することがあります。
- ・図書館の空間的なものとして、現在の図書館は本が置いてある場所、読める場所としての機能はありますが、居場所としての機能は足りていない状態だと感じる。そういったことが結果的に利用者や登録者が伸びないことに通じているのではないかと。
- ・限られた面積の中で、空間を使い分ける、時間で使い分ける、世代で使い分けるスペースなどが出来るのではないかと。昼間、夕方、夜、または平日と休日などで使い分けをし、例えば日中は小さな子どもを連れた保護者や、高齢者が使えるような時間、夕方以降は小中学生が宿題をする、夜は

高校生が使える、という線引きをし、休日は線引きをせずに利用できるようにするなど、一つの空間でも時間帯や属性によって使い分けることで効果的に空間を使うことが出来るのではないかと考えた。また、別途静かにしないといけない場所として、学習室を置く事や、また別に少し話しながら利用できるような緩やかな空間があると良い、と考えていく中で、時間を有効に使う、という事が必要になると考えた。

- ・図書館に来た時に、子連れの親がゆっくり出来る場所か、という事がとても大事であって、送迎をしないといけない様な環境では不便だと思うので、お茶を飲んだり雑誌を読んだり出来るような環境を整えることで利用者数が増えていくのではないかと考えた。

○地域のくらしを支える

- ・地域の暮らしを支えるという事は結果的に利用者が使いやすい空間になる事で、それが地域を支えることになっていくのではないか。
- ・学習以外にも、集まることが出来、気軽に立ち寄れる場所になること、また屋内だけでなく屋外も含めて使えると良いのではないか。また、地域の作家の方や趣味の掲示発表が出来るようなスペースを積極的に設けてほしい。
- ・他の公共施設との連携が大切になってくると思う。観光や市民サービスもそうだが、他施設との連携を高めるようなネットワークであったり、他施設の紹介スペースであったりというものをエントランスなどに設けてほしい。

グループC「役割③、④」

○地域のくらしを支える

- ・なぜ市民の中で地域の暮らしを支えるという機能が受け入れられなかったのか、支持されなかったのかという事について考えたところ、その役割は市役所がやるものだと思っている方が多いからなのではと意見が出た。ですが、実際は図書館でも観光情報を聞かれることや、健康情報を聞かれることがある。図書館とは、専門的なところに相談に行く前の最初の段階にあるのではないかと、まずはどこに行けばよいのか知るために図書館に行く、という使い方をされているのではないかと意見が出た。図書館とは、

市民が何を求めているのかをキャッチする、網みたいな役割を担うものなのではないかと思う。その市民のニーズに応じて、発展させていく役割を担うべきなのではと考えた。市民にそれを理解してもらえれば楽しい空間になっていくのではないかと。

- ・求められる空間としては、地域の観光案内や地元企業の紹介、市民の情報掲示板などの小さいものまでは集めて発信していく機能がここで求められているものではないか。
- ・セミナーやワークショップなども開かれると望ましいと思った。商売のことなら商工会議所に、お金のことなら銀行に行けばよいが、そこに行く前の最初の一步という役割が図書館に求められていることなのではないかと意見が出た。

④地域の歴史と魅力を伝える

- ・歴史については難しいと思いますが、図書館があって、いろんな研究会があるので、そこネットワークでつながって、こういう質問が来たらここに聞けばいい、というような情報を持っているハブのような役割が求められているのではないかと思う。歴史に関していえば、歴史好きな人を集めて研究会をするようなことも大切だと思いました。サービスとしては掲示コーナーを充実させて、普段はどんな資料があるのかもわからない人でも身近に触れられるようになると良いと思う。

歴史と魅力についてですが、美祢の魅力とは一体何でしょうか。皆さんにはそれぞれあると思いますが、足りないものに目が行きがちなので、みんなで知恵を出し合って、地域の魅力って何？と、利用者で考えていくとか、美祢の魅力を地域の魅力を再発見して、新しい魅力というようなものを作り出していくことも図書館ならではの出来る事なのではないかと意見が出た。美祢が好きな人の会を作って、みんなで語り合うようなことが出来ると素晴らしいと思う。

グループD「役割③、⑤」

○地域のくらしを支える

- ・役割③も⑤も通ずるものがあるという話になりました。具体的なことを一つ一つ上げていきます。
- ・新しいなと思ったものは、子ども食堂です。そこで勉強を見てもらえたりする場所があると良いなと思った。子どもたちのシェルター的な場所にな

れると良いなと思う。

- ・書店サービスがあると良いなと思う。ネットで買うとどうしても内容がわからないので、実際に手に取ってから購入できるような場所があったり、図書館内での選書をしてくれる場所があったりすると良いと思う。いろんな情報が入れやすい形になると良いと意見が出た。
- ・学習スペースにはPCなどの環境があることが必要だと思う。学習室をつくる場合は、多くの子どもが利用するので「見える化」が必要だと思う。囲ってはあっても、子どもたちが何をしているのかが分かるような仕組みになっていると見守る目が合っていると良いと思う。
- ・ギャラリーを作って、地元作家の作品展示を行うと良いと思う。
- ・PCやスマホの使い方や練習会をすることで、図書館のいろいろな情報を受け取りやすくなるのではないかな。
- ・大人の読み聞かせがあると良いと思う。足を運ぶことが難しい人にはDVDやWEBで公開するなどの方法が取れると思う。また、そのために高齢者がPCやスマホを使えるようになると良いと思う。
- ・暮らしに役立つ講座があると良い。掃除の話や、高齢者の多い地域なので終活の話など、具体的なものが望ましいと思う。民間の活動と連携が出来ると思う。古本の販売や、英会話や手話の講座などがあると良い。

○楽しいみんなの居場所を提供する

- ・楽しいみんなの居場所を提供するということで、カフェがあると良いと思う。公共施設なので利益の出るカフェだと難しいのであれば、自動販売機を置くなどの方法になりがちだが、それだと癒しのスペースにならないと思うので、周辺の店との連携や、図書館閉館後にも入れるカフェが併設されている等出来れば良いと意見が出た。
- ・開館時間について、例えば週に一度は開館時間を延長したり、開館している時間は同じでも時間を早めたり遅めたりすると来られる人が増えるのではないかな。桜祭りの時には夜の開館をしてもらえると良いと思う。
- ・ボランティアの充実について、保育士のボランティアを置いて、子ども達に選書をしてもらいたい。ボランティアの充実したネットワークも必要だと思う。

- ・人材ノートのような感じで、この人はこの分野に詳しい、というような情報が一覧でわかるようになるのとよりいろいろなことが出来るようになるのではないかなと思う。
- ・本は表紙が見えるように置いてもらえると手に取りやすいと思う。
- ・市民のミーティングなどの利用室があると良い。
- ・駅に近い立地がいいのではないかなという意見もあった。
- ・子育てサークルはもちろん必要だと思いますが、美祢市は高齢者が多いため、高齢者が集まりやすいイベントやサークルがあると良いと意見が出た。
- ・読み聞かせ講座の開催などがあると良いと思うが、図書館は公共施設なので、お金の発生するものはなかなかチラシを貼ってもらえない、置くことが出来ない、といういろいろな制限が今まではあったが、公共施設ではあるけれども、美祢市の中でこういうおいしいお店があるよ、というような情報も受け入れてもらえるようになると、美祢市を知ってもらう窓口として一番簡単な場所になるのではないかなと思う。もっと民間やお金の発生する講座も受け入れてもらえると良いと思う。
- ・長く運営する事を考えれば、ボランティアというと無料のイメージがどうしてもあるが、お金を支払う事で続けていけるものがたくさんあるため、公共だからそれは駄目、という考え方ではなく、もう少し緩やかな縛りの中で考えてもらえるようにしてほしいと思う。そうすることで足を運ぶ人が増えるのではないかと考えた。例えば移動図書館でも、ガソリン代などが発生してしまうが、そういったものを市だけでなく賄えるようにするなど、緩やかな考え方をしてもらえると良い。

第9回 美祢市立図書館基本計画 あり方検討委員会 ワークショップ

日時:令和4年7月28日(木) 10:00～

場所:美祢市役所 本庁3階 第1・第2会議室

-プログラム-

STEP1: 第8回あり方検討委員会を振り返ります (5分)

これまでのWSで議論した内容を振り返ります。

STEP2: 検討委員会での作業を踏まえて整理表を修正し、必要な機能について 整理したものをお示しします (10分)

- ・各班で、整理表を確認します。(資料1)
- ・整理表を基に整理した美祢図書館に必要な機能について確認します。(資料2)

STEP3: 修正した整理表を基に作成した図書館の機能関係図を説明します (30分)

- ・事務局が作成した機能関係図をもとに議論します。(資料3)

STEP4: 新しい試みを行っている図書館や、類似の図書館の事例について 紹介します (20分)

- ・岡本真さん情報提供 (レクチャー)

STEP5: 図書館とまちのつながりを考えます (30分)

- ・まちなかで一連の条件を満たす土地について確認します。(資料4)
- ・図書館がまちに開かれたものとなり、まちなかに賑わいを創出する意味でも、
図書館と他の施設などを複合化することは有効な考え方だと思います。
- ・その可能性なども考えながら、最も適していると考えられる敷地について
考えましょう。

STEP6: 各グループの意見を、全体に発表しましょう (20分)

- ・各グループで出された意見を全体に紹介してください。
- ・各グループの意見を基に、全体で議論します。

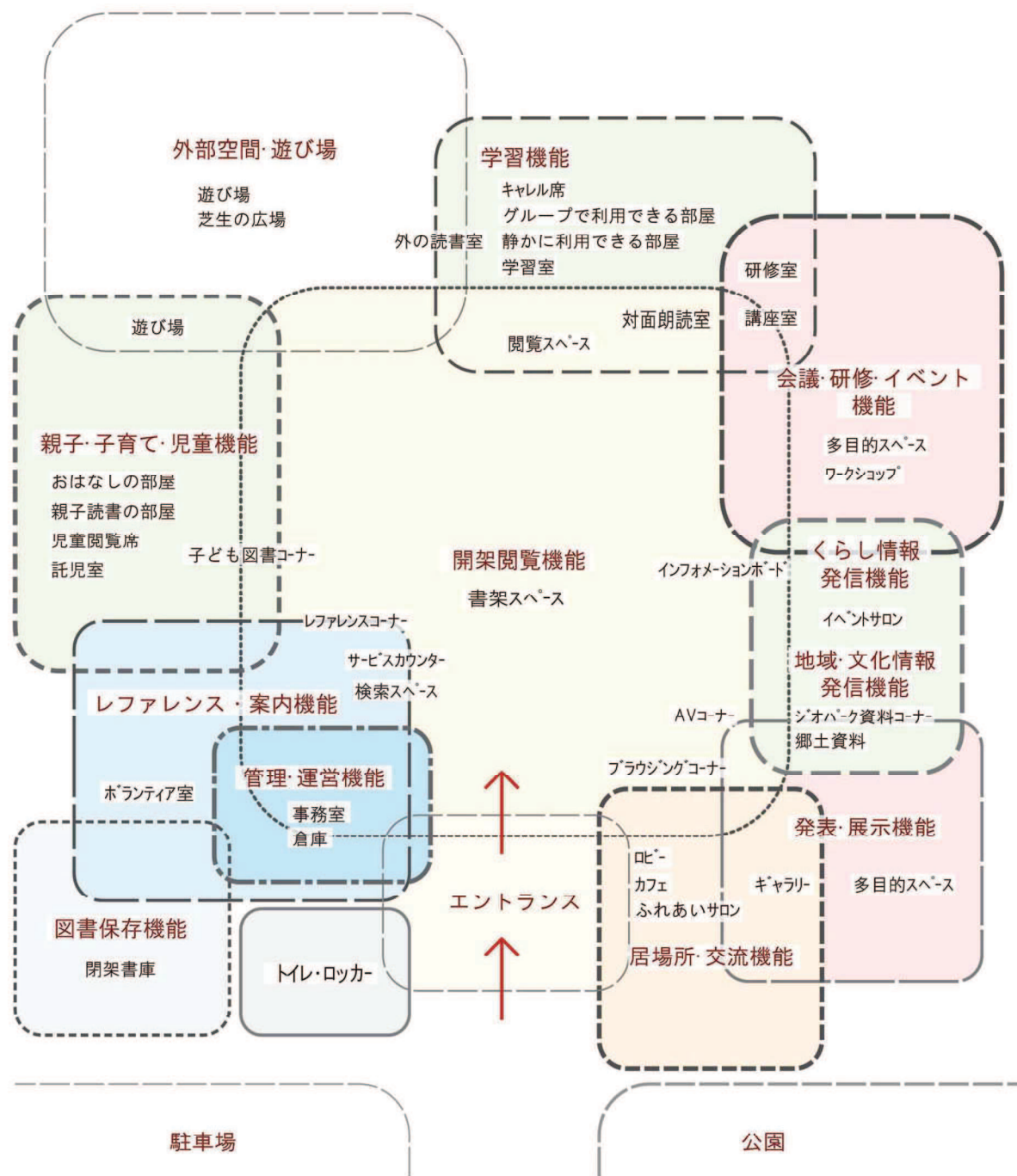
STEP7: 今日のまとめ (5分)

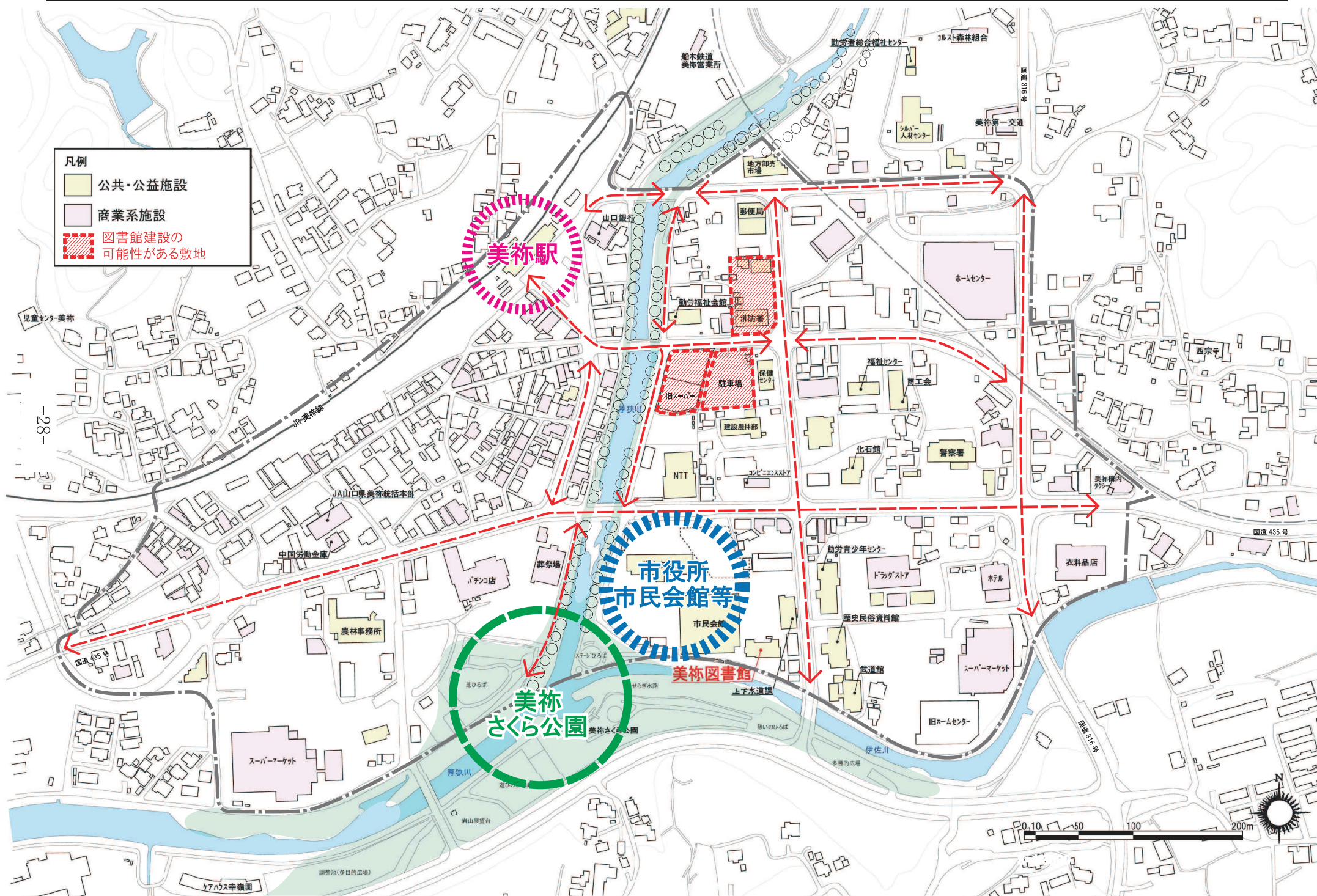
- ・今日のワークショップや今後の進め方などについてのご意見を、感想カードに書いてください。

役割	求められる機能	求められる空間	求められるサービス
役割 1 資料や情報を わかりやすく提供する	・本と触れ合うきっかけづくり ・楽しく本と触れ合う仕掛けづくり ・簡単に本が見つかる ・図書館のことをもっとみんなに知ってもらう ・情報をしっかり集める ・専門スタッフやアドバイザーが配置されている ・専門スタッフの質と量 ・他の図書館との連携 ・図書館を使いたくなるシステム	・ブラウジングコーナー ・分かりやすい書架配置 ・分かりやすいサイン ・レファレンスカウンター ・ICT環境、Wi-Fi ・閲覧スペース ・子育て空間 ・居場所 ・イベント空間 ・閲覧席 ・ゾーニングされた閲覧席 ・学習室 ・様々な世代の居場所	・ホームページ ・専門スタッフによるレファレンス ・分かりやすい検索システム ・各図書館と学校とのネットワーク ・子育て支援の充実 ・来てもらうための広報 ・物流システム ・ブックポスト ・学校図書館とのネットワーク
役割 2 多様な学びの活動を 支援する	・地元で活躍する人材を知りたい ・イベントや活動の活性化 ・活動を支援する職員やボランティアスタッフを配置 ・ボランティアスタッフの育成 ・力を発揮する場 ・子どもの成長を支える読書活動 ・学習支援活動 ・最低限頼れるレファレンス ・居場所としての機能（現状不足している）	・レファレンスカウンター ・人材情報バンク ・ネットワーク環境の充実 ・おはなしの部屋 ・児童書架 ・子どもは親と一緒にないと来れない →親がゆっくりできる場所	・研修会 ・頼れるレファレンス ・団体との連携 ・専門人材の活用
役割 3 地域のくらしを支える	・他の公共施設との連携 ・市民同士で意見交換や情報交換 ・展示するスペース ・本を買うことができるシステム ・ミネカリ（地元での物品交換） ・起業支援活動 ・地域生活情報発信 ・生活に必要な本 ・ブックスタート ・中高生向け参考書 ・多様な目的で市民が気軽に集まる場所 ・シニアに対しての情報を行き届かせる ・様々な交流の場所 ・幼児、親がゆったり ・趣味の展示発表 ・地元出身作家の展示発表 ・表彰、読書コンクール ・巡回車運行配本システム	・学習室 ・会議室 ・ホール、視聴覚室 ・多目的スペース ・シニアに居場所…なんだろう？ ・観光案内 ・図書館ならではのイベント ・学習スペース（みんなで見守るスペース） ・ギャラリー ・空間の使い分け	・くらしに役立つ講座を企画 ・年代に合わせた講座 ・移動図書館 ・交流の場 ・クラブ活動 ・地元企業の紹介コーナー ・セミナーワークショップの企画 ・独自の資金稼ぎの工夫 ・子ども食堂 ・ついでに勉強を教えてもらえるミネトとの連携 ・引きこもりの子どもの居場所 ・パソコン、スマホ、使い方講座会 ・選書会の開催 ・くらしの講座 ・英会話、手話の講座 ・切り絵の講座
役割 4 地域の歴史と魅力を 伝える	・他の施設との役割分担 ・博物館などの専門家とホットライン ・地域の歴史、文化の発信 ・地域資料保存 ・各旧町の資料を集約し活用 ・文化財保護課を併設 ・地域の魅力を伝える ・美祿の魅力を伝える ・美祿が好きな人たちの会…美祿ファンクラブ ・ジオパーク事務局との連携	・ギャラリー空間 ・サロン ・掲示板 ・講座室 ・郷土史、地域資料コーナー ・開架書架 ・ジオパークコーナー、カルストコーナー	・企画、展示 ・研修会 ・地域資料検索 ・展示コーナーの充実
役割 5 楽しいみんなの居場所を 提供する	・いろいろな使い方ができる居場所 ・ふらっと立ち寄れる居場所 ・勉強や学習ができる場所 ・気兼ねなく立ち寄れるシェルター ・子ども達の遊び場 ・行事やイベントで人が集まってくる ・まちの拠点としての役割 ・開館時間 ・高齢者の集まれるイベント、サロン ・市民交流 ・子育てサークル ・大人の読み聞かせ ・本の読み合い（読書会） ・本の読み聞かせの講習開催	・フリースペース ・サロン ・コミュニティスペース ・カフェ ・展示スペース ・ふれあいサロン ・ブラウジングコーナー	・カフェの運営 ・開館時間の工夫 ・ワークショップの開催 ・市民のミーティング利用室 ・駅に近い場所 ・ガレージセール（つんどく本の紹介） ・ボランティアの人のネットワーク ・図書館ボランティアの育成 ・いやしカフェの充実 ・開館時間の工夫

役割	求められる機能
役割 1 資料や情報を わかりやすく提供する	・本と触れ合うきっかけづくり ・楽しく本と触れ合う仕掛けづくり ・簡単に本が見つかる ・図書館のことをもっとみんなに知ってもらう ・情報をしっかり集める ・専門スタッフやアドバイザーが配置されている ・専門スタッフの質と量 ・他の図書館との連携 ・図書館を使いたくなるシステム
役割 2 多様な学びの活動を 支援する	・地元で活躍する人材を知りたい ・イベントや活動の活性化 ・活動を支援する職員やボランティアスタッフを配置 ・ボランティアスタッフの育成 ・力を発揮する場 ・子どもの成長を支える読書活動 ・学習支援活動 ・最低限頼れるレファレンス ・居場所としての機能（現状不足している）
役割 3 地域のくらしを支える	・他の公共施設との連携 ・市民同士で意見交換や情報交換 ・展示するスペース ・本を買うことができるシステム ・ミネカリ（地元での物品交換） ・起業支援活動 ・地域生活情報発信 ・生活に必要な本 ・ブックスタート ・中高生向け参考書 ・多様な目的で市民が気軽に集まる場所 ・シニアに対しての情報を行き届かせる ・様々な交流の場所 ・幼児、親がゆったり ・趣味の展示発表 ・地元出身作家の展示発表 ・表彰、読書コンクール ・巡回車運行配本システム
役割 4 地域の歴史と魅力を 伝える	・他の施設との役割分担 ・博物館などの専門家とホットライン ・地域の歴史、文化の発信 ・地域資料保存 ・各旧町の資料を集約し活用 ・文化財保護課を併設 ・地域の魅力を伝える ・美祢の魅力を伝える ・美祢が好きな人たちの会…美祢ファンクラブ ・ジオパーク事務局との連携
役割 5 楽しいみんなの居場所を 提供する	・いろいろな使い方ができる居場所 ・ふらっと立ち寄れる居場所 ・勉強や学習ができる場所 ・気兼ねなく立ち寄れるシェルター ・子ども達の遊び場 ・行事やイベントで人が集まってくる ・まちの拠点としての役割 ・開館時間 ・高齢者の集まれるイベント、サロン ・市民交流 ・子育てサークル ・大人の読み聞かせ ・本の読み合い（読書会） ・本の読み聞かせの講習開催

開架閲覧機能	・書架スペース ・閲覧スペース ・検索スペース ・AVコーナー ・ブラウジングコーナー ・対面朗読室
学習機能	・キャレル席 ・グループ利用できる部屋 ・静かに利用できる部屋 ・学習室
親子・子育て・児童機能	・子ども図書コーナー ・おはなしの部屋 ・親子読書の部屋 ・児童閲覧席 ・託児室 ・遊び場
レファレンス・案内機能	・レファレンスコーナー ・サービスカウンター ・ボランティア室
くらし情報発信機能	・インフォメーションボード ・イベントサロン
地域・文化情報発信機能	・ジオパーク資料コーナー ・郷土資料 ・ふれあいサロン
発表・展示機能	・多目的スペース ・ギャラリー
会議・研修・イベント機能	・多目的スペース ・研修室 ・ワークショップ ・講座室
居場所・交流機能	・ロビー ・ギャラリー ・カフェ ・ブラウジングコーナー
管理・運営機能	・事務室 ・倉庫
図書保存機能	・閉架書庫
外部空間・遊び場	・遊び場 ・外の読書室 ・芝生広場





2. 真庭市立中央図書館

- ・岡山県の北部には、新見市・津山市・真庭市などがある。いずれも森林資源や河川の水運をもとに栄えた街
- ・旧庁舎の建物をリノベーションしてつくった図書館。
- ・それぞれの地域に出向いて行って、全部の分館で市民と語らう会「図書館そだて会議」を続けた。最初は3人の時もあったが、続けていくことで、徐々に人が集まってきた。
- ・移住者などを中心に支えられている図書館。

○中心となる人材

- ・どちらの事例でも言えることは、人材が揃うこと、特に図書館運営の中心となる、核となる人材が揃うことで、図書館がうまく動き始めている。

STEP3：修正した整理表を基に作成した図書館の機能関係図を説明します。機能関係図を基に議論しましょう。

グループA

- ・この図を見て、こういうふうにできていたら嬉しいな。ワクワクするような気がした。
- ・核となる人がいれば中心に回っていくと思った。
- ・学習室があるのでそこを中心に子供達の利用が増えていく。
- ・子育て親子が交流する場所、幼児も成長して児童になった時に使える部屋が必要である。
- ・市民の中にも優れた知恵を持っている人がいる。文化協会と連携して人材リストをつくると良い。
- ・ジオパークや科学館、化石館などとの連携が重要。

グループB

- ・人材の確保。能力のある人材が必要。
- ・事例紹介にあった岐阜の木のぬくもりのある図書館は、素晴らしいと思った。
- ・事務スペースに作業スペース。本を積み込むスペースが必要
- ・各部署との打ち合わせの場所が必要。
- ・外部空間、遊び場、カフェ、飲食スペース本の持ち出しスペース
- ・子供たちの勉強スペース
- ・暮らしの情報、市民の活動を発表できるスペースは重要。
- ・映画の上映が可能なスペース。
- ・コピー機の使い方について、セルフコピーができると良い。
- ・書庫の規模、スペースが十分確保する必要がある。

グループC

- ・会議スペース、発表にスペースは分けないでいいのでは。
- ・小学校では、梨作りについて研究をまとめている。学校外にも見ていただけるような発表のスペースがあるといい。
- ・「MINETO」の活動を見せるスペース。
- ・久保修さんの切り絵を展示するスペースがあるといい。

- ・ 「図書館そだて会議」ができればいいな。
- ・ なるべく空が見えたり、桜が見えたりする閉鎖的でない明るい図書館がいい。
- ・ 保健福祉センターと近いので、複合できないかなあという意見が出た。保健センターにはキッキングが付いていると思うので、図書館のレシピ本と連携した利用ができるのではないかな。健康増進と図書館がつながるといいなあ。

STEP 5：図書館とまちのつながりを考えます

- ・ 市の中心部が、どんどん空洞化していく。
- ・ 消防署の跡地、スーパーの跡地、建設農林部の建物が建っている敷地、保健センター、などの敷地が空くことになる。
- ・ 美祢駅から近いことの重要性についても書いていただきたい。
- ・ 川沿いのパチンコ屋さんの横にも芝生の広場がある。
- ・ 中心部には、水害のリスクがある。浸水を想定しておいて、ここは危ないということを知っておいて、みんなで身を守る工夫と準備をすることが重要。

○委員 30 秒コメント

- ・ 本当に実現するといいな
- ・ 開放的で明るい図書館
- ・ 学校帰りに寄って帰りたくなる図書館
- ・ 休日の日でも寄れる図書館
- ・ 建物だけでなく、いい職員を確保する
- ・ 子供の声が聞こえる明るい図書館
- ・ 具体的な意見が聞けてよかった。みんなの意見が反映される図書館
- ・ 子供がここで育ってよかったと思える図書館、みんなで頑張って作る図書館
- ・ 人との繋がりが持てて、子どもからお年寄りまで集える図書館
- ・ 美祢市民全てのウェルビーイングを考える
- ・ 美祢市にも「図書館そだて会議」を。コンパクトな小さな図書館

第 10 回 美祢市立図書館基本計画 あり方検討委員会 ワークショップ

日時:令和 4 年 10 月 4 日(火) 14:00～

場所:美祢市民会館 2階 大会議室

－プログラム－

STEP1：第 9 回あり方検討委員会を振り返ります (10 分)

- ・これまでの WS で議論した内容を振り返ります。(資料 1)

STEP2：検討委員会でのこれまでの作業を踏まえて、図書館と融合・複合すること で市民生活がより豊かになると考えられる機能について 考えます (30 分)

- ・これまで出された意見などをもとに、図書館と複合したらより市民の生活が豊かになると考えられる機能について整理しました。(資料 2)
- ・これらの資料を参考に、新しい図書館と複合したらよいと思う機能について話し合ってください。

STEP3：各グループでの意見を、全体に発表しましょう (20 分)

- ・各グループで出された意見を全体に紹介してください。
- ・各グループの意見を基に、全体で議論します。

STEP4：美祢市にこれから出ていく図書館を市民がどのように育てていくか について話し合います (30 分)

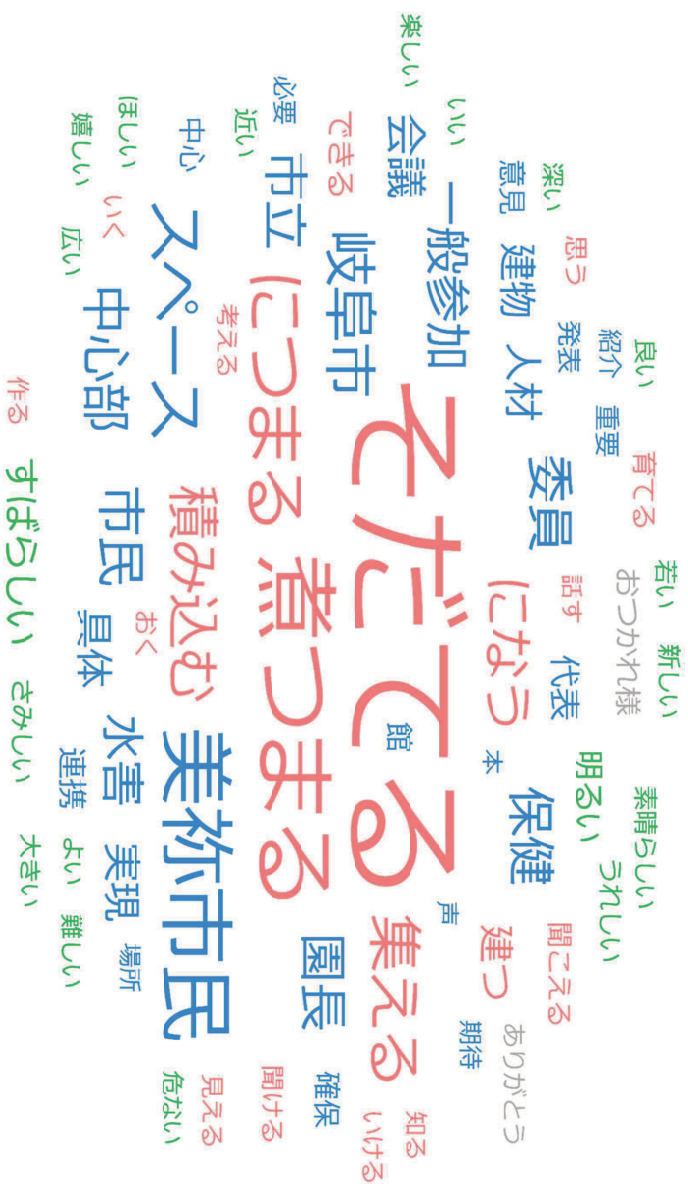
- ・新しい図書館づくりを進めていくとき、市民の側で取り組める活動についてグループごとに意見を出し合しましょう。
- ・参考のために、前回の委員会の議事録をテキストマイニングした結果を(資料 3)に示しています。

STEP5：各グループの意見を、全体に発表しましょう (20 分)

- ・各グループで出された意見を全体に紹介してください。
- ・各グループの意見を基に、全体で議論します。

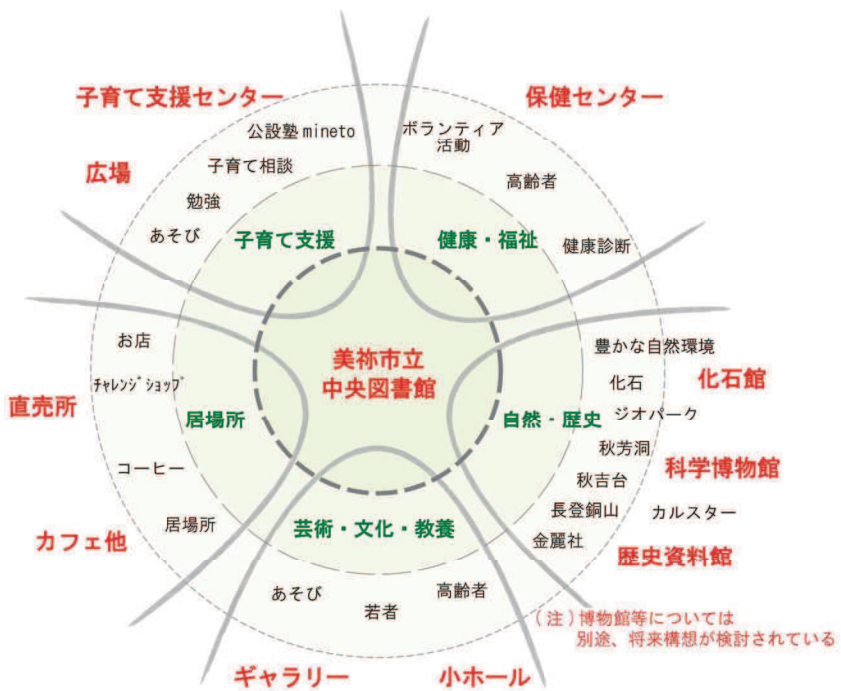
STEP7：今日のまとめ (10 分)

- ・今日のワークショップや今後の進め方などについてのご意見を、感想カードに書いてください。



資料 2

複合、融合 つなぎの核としての美祢市立中央図書館



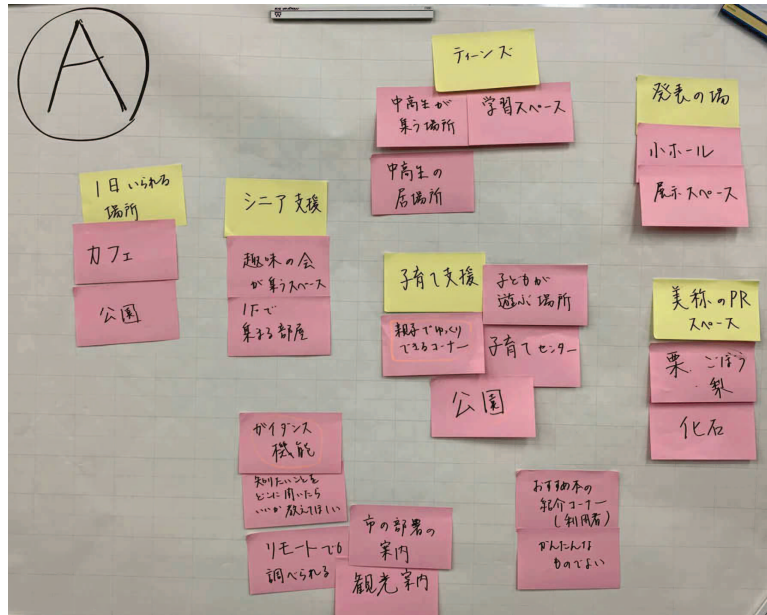
図書館と複合することでメリットのある機能は何だろう！

美祢市立図書館基本計画策定業務

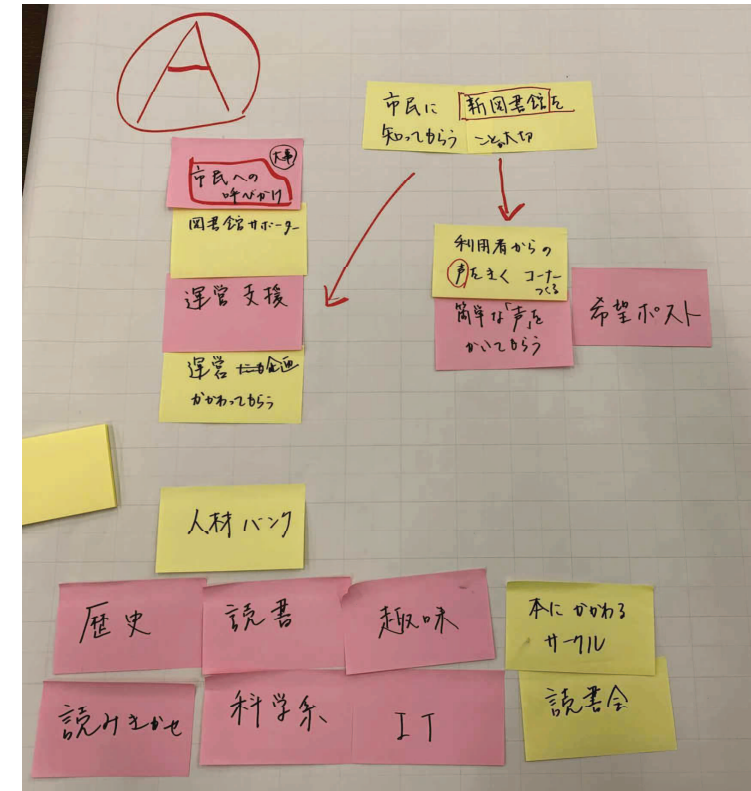
令和4年度第10回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画

日 時	2022年10月4日(火) 14:00~16:00
場 所	美祢市市民会館 2階会議室
グループ A	委員：大山 裕子 (厚保小学校校長) 田村恵美子 (県立山口図書館) 参加者 (敬称略) 安田 一富 (社会教育委員) 吉村 恵美子 (一般参加)

STEP2：検討委員会でのこれまでの作業を踏まえて、図書館と融合・複合すること
ことで市民生活がより豊かになると考えられる機能について考えます



STEP4：美祢市にこれから出ていく図書館を市民がどのように育てていくか
について話し合います

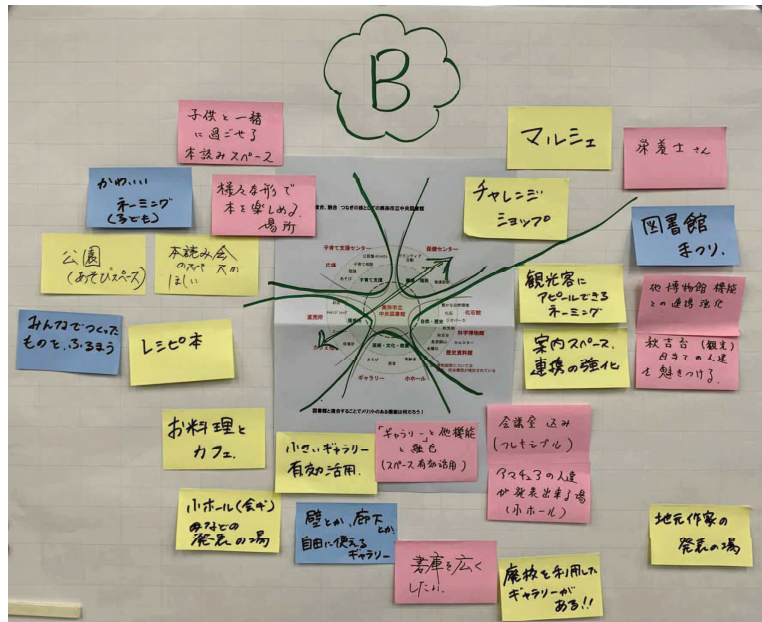


美祢市立図書館基本計画策定業務

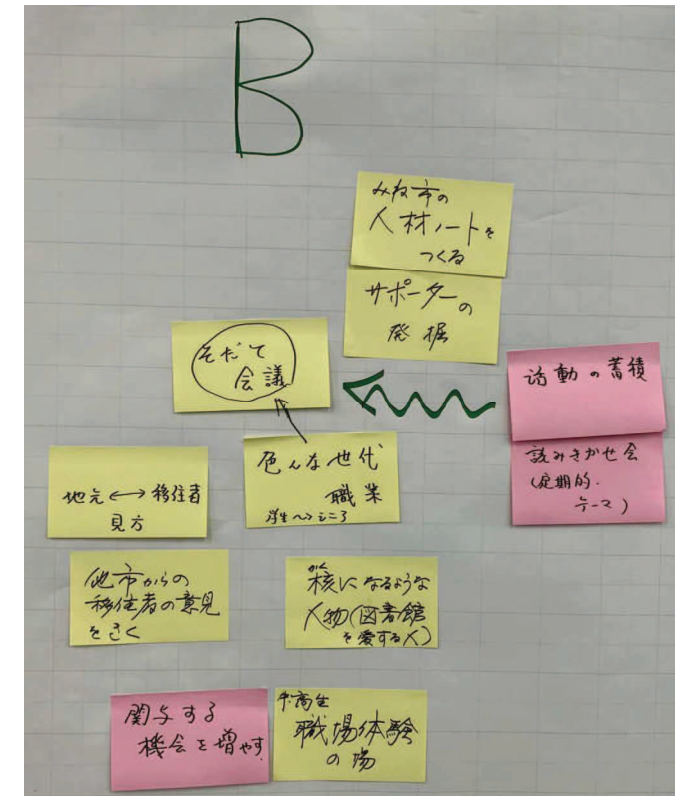
令和4年度第10回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画

日 時	2022年10月4日(火) 14:00~16:00
場 所	美祢市市民会館 2階会議室
グループ B	委員: 作本 照子(認定こども園代表 伊佐中央幼稚園園長) 山根 文江(読み聞かせの会代表) 参加者 (敬称略)
	野原 妙子(利用者美祢地区代表) 中村 智美(一般参加)

STEP2: 検討委員会でのこれまでの作業を踏まえて、図書館と融合・複合すること で市民生活がより豊かになると考えられる機能について考えます



STEP4: 美祢市にこれから出ていく図書館を市民がどのように育てていくか について話し合います



美祢市立図書館基本計画策定業務	
令和4年度第 10 回美祢市立図書館あり方検討委員会 発表記録 (株)龍環境計画	
日 時	2022 年 10 月 4 日 (火) 14 : 00～16 : 00
場 所	美祢市市民会館 2 階会議室

STEP2：検討委員会でのこれまでの作業を踏まえて、図書館と融合・複合すること ことで市民生活がより豊かになると考えられる機能について考えます

グループ A

- ・ カフェ、子育て支援の場、シニア支援の場所、中高生の集まれる場所
- ・ 子育て支援、親子でゆっくりできる場所
- ・ 公園が近くにあるといい
- ・ ティーンズ、学習のスペース。個人とグループで使えるスペース
- ・ シニア支援、家から出てくるきっかけ
- ・ いろいろな発表の場、ホールなども欲しい 自分たちが撮った写真など
- ・ 利用者自身のオススメ本の紹介するコーナー
- ・ カフェと公園、一日中居られる場所になるといい
- ・ まちのガイダンス機能が図書館にあると良い。役所が閉まっている時、役所のどこに行けばいいか、などについてのインフォメーションができるといい

グループ B

- ・ 保健センターとカフェがつながる。料理とカフェ、レシピ本などの活用。
- ・ チャレンジショップ、マルシェなどもつながるといい。
- ・ 資料館、博物館などについて、図書館の外に案内スペースが欲しい。
- ・ 子育て支援、本読みができる場所が欲しい
- ・ 子供が騒いでもいいスペース、室内の広場（岐阜の事例のように）
- ・ 図書館の入り口あたり（フロント）にギャラリースペースが欲しい
- ・ 久保修さんの作品展示スペース。
- ・ これらは、1 部屋とるというよりコーナーで良い
- ・ 欲を言えば小ホールが欲しい。発表の場は 5 0 席程度あればいい

グループ C

- ・ 鳥取の南部町の「キナルなんぶ」を見に行った時の話に多くの時間を割いた。これまで話してきたような内容がほとんど入っている
- ・ カフェが付いている。子供のスペースがある。書架の配置もいい。
- ・ パソコンで仕事ができるスペース。小さな打ち合わせスペース
- ・ オオサンショウウオの生息地に関する資料もある。
- ・ 人形作家のコーナーがある
- ・ 南部町はこんなところだと、わかるコーナーがある。
- ・ 博物館の案内、展示品の出張展示ができるスペース
- ・ 元の図書館に増築してあたらしい建築をつくっている
- ・ 博物館についての展示が出張してくるようなコーナーがあるといい。
- ・ ここはこんな部屋、ここはこう使うという風に部屋になっていなくて、いろいろなコーナーが全体がゆるやかにつながっている

岡本真さんコメント

- ・ どれも興味深く聞きました。回を重ねてきたので皆さんの検討内容のレベルが上がってきた。
- ・ ほとんどがリアリティを持って語られていることが素晴らしい。

STEP4：美祿市にこれから出来ていく図書館を市民がどのように育てていくか について話し合います

テキストマイニング分析結果について紹介

グループA

- ・ まず、新図書館ができることを市民に知ってもらうこと（PR）が重要
- ・ 運営などに関わる人を呼びかける
- ・ 新図書館ができることについて市民の声を聞くコーナーをつくる
- ・ 人材バンクをつくる必要がある
- ・ 本に関わるサークルなどもできるといい

グループB

- ・ 「図書館そだて会議」を進めることを議論した。
- ・ どのような人が入ったら良いか、地元だけでなく、外の人も入れる。
- ・ 読み聞かせ
- ・ 地元住民に限らず、移住者も一緒になれるといい
- ・ サポーターになる人材ノートをつくる。行政だけではなく、民間の人を中心に人材を集める
- ・ 中心になる人が必要、連絡網のようなものをつくる

グループC

- ・ 新しい図書館と市民とつながることを考える
- ・ 新しい図書館楽しみだね、どんなことしてみたい？ お互いに意見を聴きあうところがあるといい
- ・ 会議というと堅苦しくなるので、世間話的に話し合いができる機会があるといい
- ・ 使う人だけのニーズではなく、来ない人のことも考え、来る人だけの図書館にしたい
- ・ 本を読まなくてもいい、あなたの居場所ですよ。ということをわかってもらう
- ・ ボランティアに役割を認識してもらう。市民と図書館のつながり方の幅を広げる
- ・ 学校単位で図書館育て委員のようなものを作ったらどうか？委員には市民の会議に参加してもらう
- ・ ボランティアには、役割を認識してもらうことも重要

岡本真さんコメント

- ・ 市民利用施設なので自分達自身の手で運営をしていこうとする流れがあるのは重要
- ・ ただ人がいればいいというのではない市民の関わりが必要
- ・ ただの労働力になっているのではない市民の役割
- ・ リ・スキリングということが話題になり始めている。
- ・ 例えば、別府温泉の資格認定（温泉名人）の事例、のような仕組みづくりもいいのではないか。

第11回 美祢市立図書館基本計画 あり方検討委員会 ワークショップ

日時:令和4年11月17日(木) 10:00～

場所:美祢図書館 2階 視聴覚室

－プログラム－

STEP1：第10回あり方検討委員会を振り返ります (10分)

- ・ 第10回WSで議論した内容を振り返ります。(資料1)

STEP2：美祢市立図書館基本計画（途中経過）について説明します (20分)

- ・ これまでのあり方検討委員会の議論や、アンケート調査の結果などをもとに、基本計画の素案を作成しました。その案について説明します。

STEP3：基本計画（途中経過）について各グループで話し合しましょう (20分)

- ・ 基本計画の説明を受けて、全体の構成や、内容について、各グループで話し合しましょう。
- ・ 各グループの意見を全体に発表しましょう。

STEP4：図書館と他の機能との複合・融合について議論します (20分)

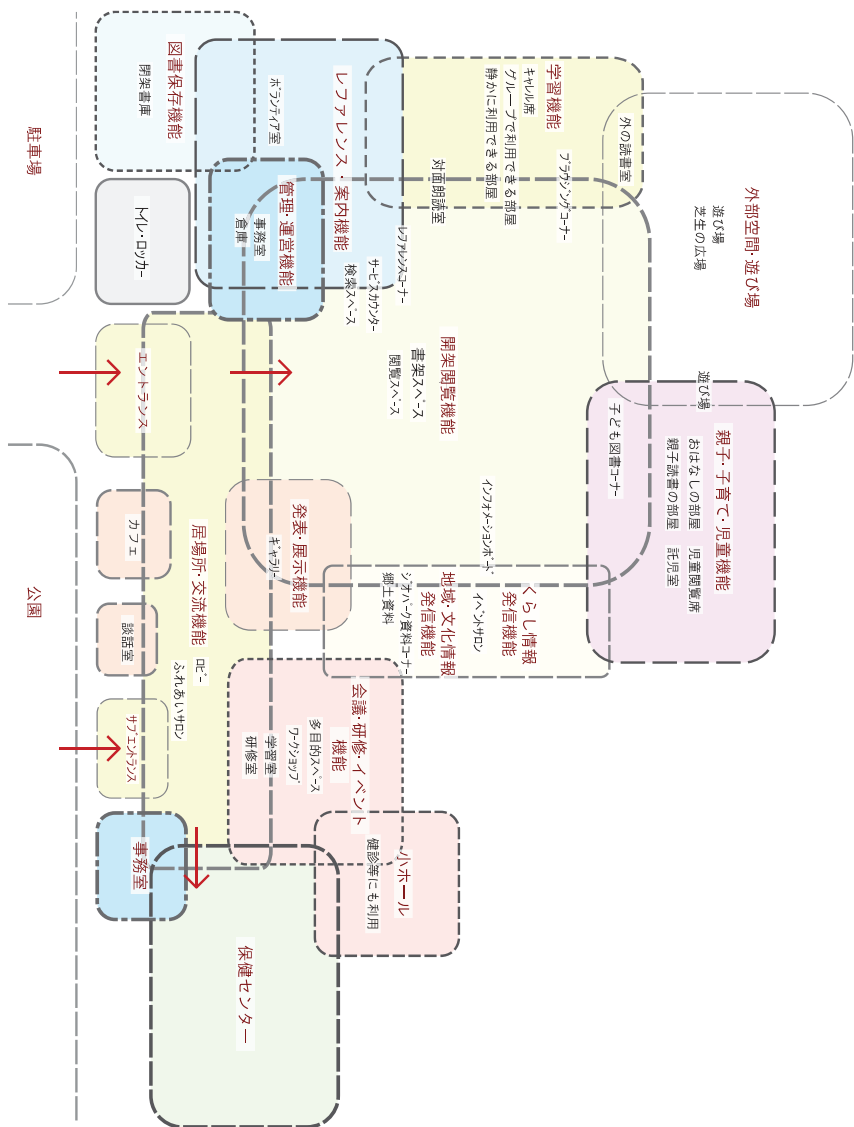
- ・ 新しい図書館づくりを進めていくとき、他の機能と複合することで市民利用の利便性が高まり、中心部の活性化につながることが期待されます。基本計画（途中経過）のP23に複合化の試案を示しています。(資料2)
- ・ 他の機能と図書館を融合した場合の空間構成図を説明します。(資料3)
- ・ これらをもとに、望ましい複合のあり方について話し合しましょう！
- ・ 参考のために、複合施設の事例をいくつか紹介します。

STEP5：各グループの議論の内容を、全体に発表しましょう (20分)

- ・ 各グループで出された意見を全体に紹介してください。
- ・ 各グループの意見を基に、全体で議論します。

STEP6：今日のまとめ (10分)

- ・ 今日のワークショップや今後の進め方などについてのご意見を、感想カードに書いてください。
- ・ 今後の図書館づくりの進め方について大まかな流れを説明します。

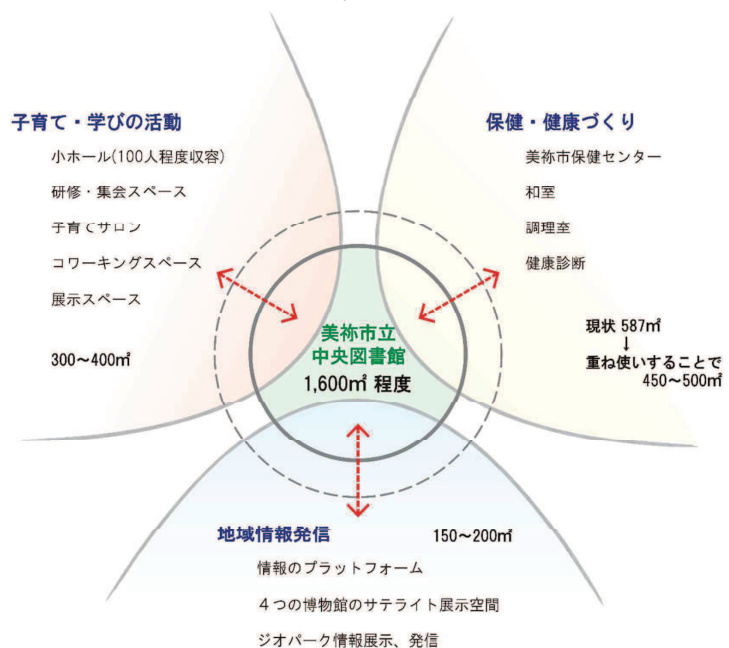


資料 2

他の施設との複合・融合について

まちなかの他の施設との複合・融合

市民アンケートでは、図書館と複合していると思う施設に関しては、カフェが最も多く、次いで、子育て関係の施設への要望が多く、研修室、講座室、展示ギャラリーが続きました。また、既存の保健センターの老朽化に伴う機能の更新を考える必要があること、市内4つの博物館が点在し、それぞれの特色がわかりにくいので、サテライトのような施設があったら良い、などの意見もあり、合築複合することで、効果的であると思われる施設との関係を整理します。



複合化の試案

図書館を中心に、子育て・学びの活動、保健・健康づくり、地域情報発信という機能が複合した施設の考え方です。この複合施設の場合、以下の様な施設の規模が目安となります。

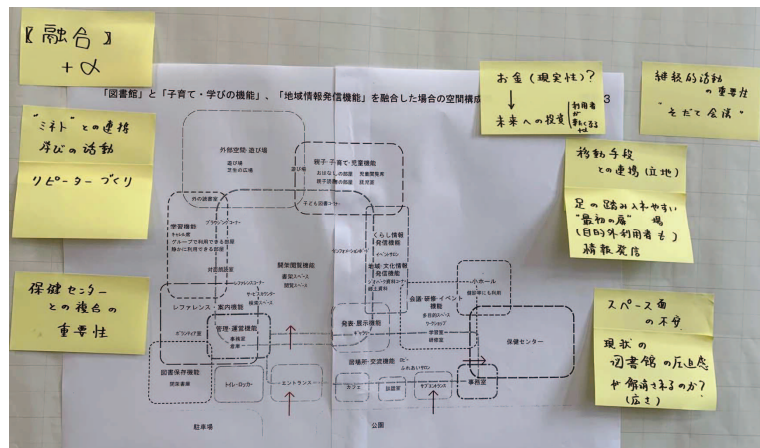
施設規模の目安

$$1,600\text{㎡} + 450\text{㎡} + 300\text{㎡} + 150\text{㎡} = 2,500\text{㎡} \text{ 程度}$$

令和4年度第11回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画

日 時	2022 年 11 月 17 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所	美祿図書館 2 階視聴覚室
グループ A	委員：波佐間 正順（吉則保育園園長）
参加者	柴崎 良子（大嶺中学校地域コーディネーター）
（敬称略）	牛島 朗（山口大学大学院創成科学研究科准教授）
	吉村 恵美子（一般参加）

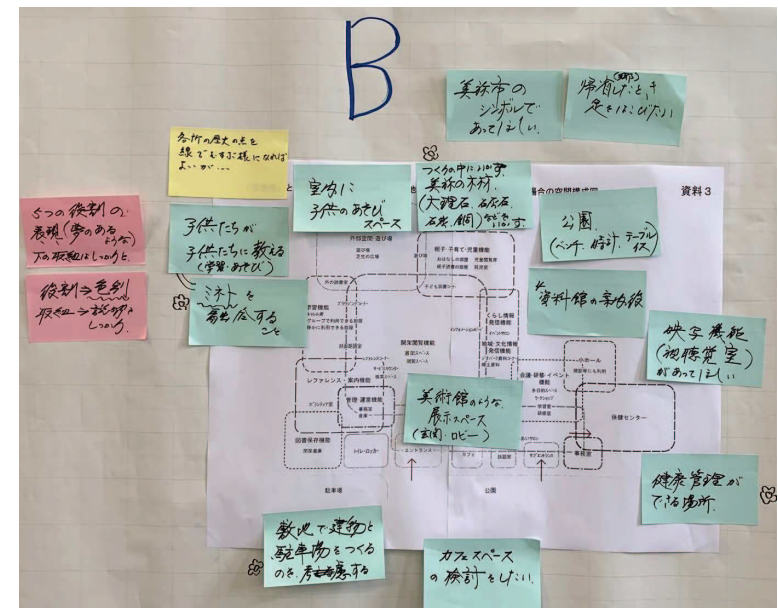
STEP2(基本計画の全体構成と各章の内容など)と、STEP4(他の機能との融合・複合について)を連続して議論してもらい、議論の内容について班ごとに発表



令和4年度第11回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画

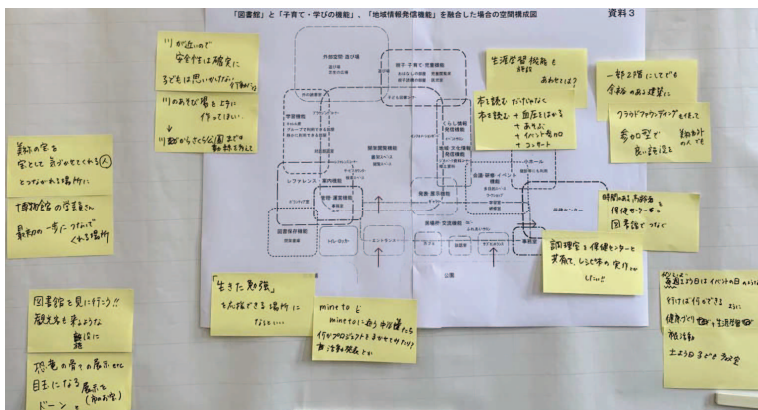
日 時	2022 年 11 月 17 日 (木) 10 : 00～12 : 00
場 所	美祢図書館 2 階視聴覚室
グループ B	委員：大山 裕子 (厚保小学校校長)
	山根 文江 (読み聞かせの会代表)
参加者	野原 妙子 (利用者美祢地区代表)
(敬称略)	安田 一富 (社会教育委員)

STEP2(基本計画の全体構成と各章の内容など)と、STEP4(他の機能との融合・複合について)を連続して議論してもらい、議論の内容について班ごとに発表



美祢市立図書館基本計画策定業務	
令和4年度第 11 回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2022 年 11 月 17 日 (木) 10:00～12:00
場 所	美祢図書館 2 階視聴覚室
グループ C	委員：作本 照子 (認定こども園代表 伊佐中央幼稚園園長)
参加者	古川 幸隆 (県立美祢青嶺高等学校校長)
(敬称略)	豊田 康恵 (利用者秋芳地区代表)
	金子 明美 (教育委員会委員)

STEP2(基本計画の全体構成と各章の内容など)と、STEP4(他の機能との融合・複合について)を連続して議論してもらい、議論の内容について班ごとに発表



美祢市立図書館基本計画策定業務	
令和4年度第 11 回美祢市立図書館あり方検討委員会 発表記録 (株)龍環境計画	
日 時	2022 年 11 月 17 日 (木) 10:00～12:00
場 所	美祢図書館 2 階視聴覚室

STEP2(基本計画の全体構成と各章の内容など)と、STEP4(他の機能との融合・複合について)を連続して議論してもらい、議論の内容について班ごとに発表

グループ A

- 基本計画の全体構成や、空間構成のモデルなどは、これまでの議論が反映されているので良いのではないかな。
- 融合する上では、ミネトなど学習機能との融合は重要
- 保健センターとの融合は重要
- 実現性に関しては財政的な観点から不安だが、現状は改善しないといけない
- 圧迫感があり、足を踏み入れにくい。書架の中で本を読んでいるという感じを改善したい。
- 立ち入りやすい施設、入口最初の扉をどうつくるかが重要
- 育て会議、が重要である

グループ B

- 建物の仕上げなどの中に、美祢の木材、大理石・石灰石、銅（白・赤・黒）など、美祢市の素材をうまく使って造り、その素材がどこで見ることができるかの案内をしたらいいのではないかな。
- 複合施設になると、多くの人が来ると考えられるので駐車場を使いやすくすることが重要
- ミネトの拠点を図書館に移して図書館で活動してもらう。その子達が下の世代に教えたりすることが出来ると良い
- 健康管理ができる場所になると良い。健康相談も出来ると良い。

グループ C

- 子どもの遊び場を設ける場合川が近いので安全性に配慮したつくりにする必要がある
- さくら公園までの動線のつくり方が重要

- ・ 図書館を見に行こう、という動きをつくり、観光客も来られる場所にできたらいい
- ・ 図書館に来ると美祢のことがわかる場所になったらいい
- ・ ミネトの活動を図書館で展開できたらいい。生きた勉強を図書館が支援する関係をつくる
- ・ 複合については、高齢者が来て楽しい施設にできたら良い
- ・ イベントと本を読む活動をつなげる
- ・ 息苦しくない施設になったら良い
- ・ 美祢市全体の生涯学習機能が複合されるといい

(空白)